

## II 各教科の正答率、問題の内容及び所見・解説

### 5 英語

#### (1) 正答率

問題	配点	正答		一部正答		誤答		無答		通過率 率 = $\frac{\text{得点計}}{\text{人数} \times \text{配点}}$ (%)	
		数	率 (%)	数	率 (%)	数	率 (%)	数	率 (%)		
1	No. 1	2	270	89.1	0	0.0	32	10.6	1	0.3	89.1
	No. 2	2	247	81.5	0	0.0	55	18.2	1	0.3	81.5
	No. 3	2	230	75.9	0	0.0	72	23.8	1	0.3	75.9
	No. 4	2	173	57.1	0	0.0	129	42.6	1	0.3	57.1
	No. 5	2	120	39.6	0	0.0	182	60.1	1	0.3	39.6
	No. 6 (1)	3	222	73.3	0	0.0	80	26.4	1	0.3	73.3
	No. 6 (2)	3	93	30.7	0	0.0	209	69.0	1	0.3	30.7
	No. 6 (3)	3	155	51.2	0	0.0	147	48.5	1	0.3	51.2
	No. 7 (1)	3	220	72.6	5	1.7	46	15.2	32	10.6	73.7
	No. 7 (2)	3	48	15.8	17	5.6	169	55.8	69	22.8	18.8
No. 7 (3)	3	126	41.6	15	5.0	101	33.3	61	20.1	44.1	
2	A	3	217	71.6	4	1.3	71	23.4	11	3.6	72.4
	B	3	62	20.5	71	23.4	112	37.0	58	19.1	35.4
	C	3	221	72.9	13	4.3	55	18.2	14	4.6	75.6
	D	4	75	24.8	66	21.8	135	44.6	26	8.6	36.9
3	問1	3	168	55.4	0	0.0	131	43.2	4	1.3	55.4
	問2	3	183	60.4	0	0.0	119	39.3	1	0.3	60.4
	問3	4	186	61.4	7	2.3	103	34.0	7	2.3	63.0
	問4	4	172	56.8	21	6.9	41	13.5	69	22.8	61.6
	問5	4	207	68.3	0	0.0	94	31.0	2	0.7	68.3
4	問1	3	213	70.3	0	0.0	88	29.0	2	0.7	70.3
	問2	4	95	31.4	63	20.8	101	33.3	44	14.5	43.0
	問3	4	85	28.1	6	2.0	198	65.3	14	4.6	29.5
	問4	3	236	77.9	0	0.0	66	21.8	1	0.3	77.9
	問5	3	157	51.8	0	0.0	145	47.9	1	0.3	51.8
	問6	4	188	62.0	0	0.0	112	37.0	3	1.0	62.0
	問7	4	25	8.3	136	44.9	61	20.1	81	26.7	30.9
	問8	4	26	8.6	43	14.2	113	37.3	121	39.9	15.4
5	問1	3	72	23.8	1	0.3	196	64.7	34	11.2	24.0
	問2	3	154	50.8	0	0.0	142	46.9	7	2.3	50.8
	問3	6	23	7.6	206	68.0	30	9.9	44	14.5	45.5

(小数第2位を四捨五入しているため、の合計が100にならない場合がある。)

#### (2) 問題の内容

① 会話やまとまりのある英語の概要や要点を聞き取る。

No. 1～3 飲食店での注文、美術館での会話、父親の所在を探すなど、日常的な場面での会話を聞いて、絵の中から、質問に対する答えとして適切なものを選ぶ。

No. 4、5 明日の予定や、散歩中に落とし物を拾うといった、日常生活における「ある場面」を説明する英文を聞いて、質問に対する答えとして適切な表現を選ぶ。

No. 6 バスガイドがツアーの行程や昼食場所について英語で説明している。その説明を聞き取り、質問に対する答えとして適切なものを選ぶ。

No. 7 朝の過ごし方について、JohnとKayoが話している。その会話を聞き取り、内容について英語で答える。

- 2 フリーマーケットの案内を英語で作成することを想定し、日本語のメモをもとに、空欄にあてはまる語句をそれぞれ書き、英語の案内を完成させる。
- 3 中学生のDaisukeは、音楽の授業でギターの演奏をAkiとペアで練習した。Daisukeが家で、母親にギターがうまく弾けなかったことを話すと、母親は自分が若いころ弾いていたギターを持ってくる。Daisukeはこのギターを使って練習し、音楽の授業で発表する。Akiとはschool festivalでの演奏に向けて、放課後毎日ギターを練習することになった。この英文を読んで、概要や大切な部分を読み取る。
- 4 Naoto、KimmyとAyakoの会話である。帰国するALTへの贈り物を決める話し合いについて、複数のまとまりのある英文を読み、概要や大切な部分を把握し、場面に応じて英語で適切に表現する。
- 5 アメリカに住む友人からのメールを読んで、メール内容や必要な情報を読み取る。また、将来の夢について、2つの条件に従って、3文以上の英語で書く。〔条件〕①として、1文目は将来の夢はどのようなものかを書き、〔条件〕②として、2文目以降は具体的にどのようなことをしたいかを2文以上で書く。

### (3) 所見・解説

- 1 会話やまとまりのある英語を聞いて、概要や要点を聞き取る力をみようとしたものである
- No. 1 会話を聞いて、ハンバーガーショップで客が注文したものを選ぶ問題である。会話では、最初に“Can I have one hamburger, two hot dogs and a cup of coffee, please?”と注文したが、ホットドッグが無いと言われ、“OK, then I’ll have one more hamburger, please.”と言っているので正答はBである。
- No. 2 会話を聞いて、Mike たちが会話をしている場面や場所を選ぶ問題である。“Look at the bird in this picture”、“My favorite is the picture of a train and a mountain.”と言っていることから、正答はCである。会話全体をとらえたうえで、bird や train、mountain などの情報が何を示しているかを整理して聞き取ることで正答を導くことができる。
- No. 3 会話を聞いて、Michael の父親がどこにいるのかを答える問題である。母親が“He has just stopped his car.”と言っているので、正答はAである。
- No. 4 Robert に明日サッカーを一緒にできるか尋ねられた Ken が応答する場面である。Ken は明日の午前中に家で母親の手伝いをしなければならいので、午後にサッカーをしたいと思っていることから、正答はBである。
- No. 5 父親と散歩をしている Mika が持ち主の分からない鍵を見つける場面で、父親が Mika に何と言うかを問う問題である。「交番に持っていこう」を表すDが正答である。状況を的確に把握し、適切な表現を選択することが大切である。
- No. 6 昼食場所である Saitama Restaurant について説明をするバスガイドの話の聞き取り、英語の質問に対する答えとして最も適切なものを選ぶ問題である。
- (1) 質問は「Saitama Restaurant で一番人気のあるケーキは何か」というものである。“Most people order the chocolate cake at the restaurant.”から、正答はAである。複数出てくるケーキの種類を整理して聞き取ることで、正答を導くことができる。
- (2) 質問は「バスは何時にレストランを出発するか」というものである。“It’s twelve o’clock now. Our bus will stay here for an hour and thirty minutes.”と言っているので、正答はDである。
- (3) 質問は「Saitama Restaurant について正しいものはどれか」というものである。“if you want to have food from other countries, Saitama restaurant is a great place”、“You can eat many different foods from all over the world.”と話していることから、正答はCである。メモを取るなどして、情報を整理しながら聞く練習をすることで、必要な情報を捉えることができる。
- No. 7 Kayo と John の会話を聞き取り、英語の質問に対する答えとなる英文を完成させる問題である。

(1) 質問は「John はどれくらい日本語を勉強しているか」というものである。John が「I've studied it for three years.」と言っているので、正答は three となる。

(2) 質問は「なぜ Kayo はラジオで英語の番組を聞くのか」というものである。Kayo が「I want to use English for my job in the future」と言っているので、正答は use English となる。

(3) 質問は「なぜ John は数学の宿題を手伝ってほしいと Kayo に頼んだのか」というものである。John が「I need your help because you're good at math.」と言っているので、正答は good at となる。

「聞くこと」の学習においては、No. 1 のような短めの英語を聞くことから始め、英語を聞き取り、絵や図表などの情報につなげることへの慣れが重要である。No. 4 や No. 5 では、特定の場面・状況において聞き取った内容について、どのような応答がふさわしいのか考え、適切に応じるための表現を正確に理解することが大切である。No. 6 や No. 7 のようなまとまりのある英語では、概要や要点を正確に把握するために、メモを取るなどの工夫をして、必要な情報を把握し、整理する力を身に付けたい。

2 身近な場面に関する英文を完成させることを通じて、基本的な語の使い方や綴りが定着しているかをみようとしたものである。

A 「楽しむ」 enjoy の綴りを問う問題である。日常生活で使用される主要な動詞の一つで、無答は少なかったが、形容詞の fun とする解答が見られた。普段から実際の場面を意識しての活用を心がけたい。

B 「種類」 kind の使い方を問う問題である。kind までによく書けていたが、複数形の s を書いていない解答が多かった。基本的な語彙について、実際の文脈の中で、適切に活用できる知識及び技能を身に付けたい。

C 「6月」 June の綴りを問う問題である。Jun とする誤答が多く、併せて、July (7月) と誤認識している解答もみられた。月や曜日は音声でも慣れ親しんでいる語であり、それらの語彙の定着を図りたい。

D 「バッグを持ってくる」 bring a bag を書いて表現する問題である。〔日本語のメモ〕や英語の案内をもとに、簡単な語句を用いて正確に書く力をみようとした。目的や場面、状況に応じて、語だけでなく語句を使って伝えたいことを表現できる力を身に付けたい。

3 まとまりのある英文を読んで、概要や大切な部分を読み取る力と、基本的な語や文法項目が定着しているかをみようとしたものである。

問1 話の流れをふまえて、本文中の A ~ C のいずれかに、「But it was very difficult for me to play it well.」という1文を補う問題である。第1段落冒頭には、Daisukeが最近まで楽器を上手に演奏できなかったこと、音楽の授業でギターを練習した様子が書かれている。さらに、空欄のあとに「Then, our music teacher, Mr. Kishi, gave me some advice for playing the guitar.」につなげると自然な流れになる A が正解となる。

問2 英文の流れに合わせて、空欄にあてはまる適切な英語を選ぶ問題である。空欄のある英文の前に「Do you want to try my guitar?」とあることから、「若いころに演奏していたギターをまだ持っている」を意味する、ウが正答である。

問3 本文の流れに合うように、単語を正しい順序に並びかえて英文を完成させる問題である。正答は have been practicing the である。「have + been + ~ing」を使用した現在完了進行形の文構造を構成する力が求められる。誤答には、have been the practicing が多くみられた。

問4 本文の内容に関する英語の質問に英語で答える問題である。なぜDaisukeが母親と話をしたときに驚いたのかが問われており、本文中の「I didn't know that my mother could play the guitar.」が質問に対する答えとなる。(Because he heard that she could) play the guitar. が正答となる。

問5 本文の内容と合う英文を選ぶ問題である。第2段落に、「She smiled and brought the guitar from her room and gave it to me. B “Can I play this?” I asked. “Of course!” said my mother.」と書かれていることから、「Daisukeは母親が練習のために部屋から持ってきたギターを使った。」を意味する、イが正答である。

4 複数のまとまりのある英文を読んで、概要や大切な部分を読み取り、場面に応じて英語で適切に表現する力をみようとしたものである。

- 問1 英文の流れに合わせて、空欄にあてはまる適切な英語を選ぶ問題である。直前のKimmyの発言、および空欄直後からAyakoが同意していることがわかる。よって、正答はイとなる。
- 問2 本文①の内容と合うように、Ayakoが自分たちの考えを他の部員たちに伝えようとする理由を日本語で説明する問題である。本文①の最後にある文“I think they will help us choose a good present.”から、正答は「Ayakoたちがよいプレゼントを選ぶのを、彼らは助けるだろうと思うから。」などとなる。
- 問3 本文の流れに合うように、単語を正しい順序に並べかえて英文を完成させる問題である。正答はhim something he is interestedである。〔主語＋動詞＋間接目的語＋直接目的語〕の文構造、および先行詞somethingにかかる関係代名詞目的格thatの省略で英文を完成させることができる。
- 問4 本文②の内容と合うように、Mr. SmithのSelf-Introduction Sheetの空欄にあてはまる最も適切なものを選ぶ問題である。本文②10行目“Based on this sheet, how about giving him flowers, too? I’m sure he’ll like them.”から、正答はエである。
- 問5 本文の内容と合う英文を選ぶ問題である。Naoto said thatから続くので、Naotoの発言として正しいものやその発言に関わる事実を採せばよい。Naotoの“Based on this sheet, how about giving him flowers, too? I’m sure he’ll like them.”という発言に対してKimmyが“I don’t think that’s a good idea.”と言っていることから、アが正答である。
- 問6 本文③の内容に合っている英文を答えさせ、まとまりのある文章の大切な部分を読み取る力をみる問題である。本文③6行目“Well, I can play the piano, so I will play the piano for the songs.”とあるので、正答はエである。
- 問7 本文④の内容を理解した上で、与えられた条件に従い、英語で適切に表現できるかをみる問題である。「自分なら、3つのプレゼントの案の中からどのプレゼントを選ぶか」という間について、自分の考えを2文以上の英語で表現する。1文目は、選んだプレゼントを書き、2文目以降は、その理由が伝わるようにつなげて書く。誤答としては、助動詞の直後に動詞の原形が書かれていないもの、その後の理由もうまく伝えられていないものが多くみられた。目的や場面、状況などに応じて、自分の考えや気持ちなどを表現したり伝え合ったりする言語活動を、日頃から心掛ける必要がある。
- 問8 自然な会話になるように空欄に3語以上の英語を書く問題である。空欄のある英文は、疑問文であり、直後にある応答に、“How about this Friday afternoon?”と日時を伝える表現が続くため、「いつプレゼントを渡すべきか」を質問すればよい。誤答には、疑問文の形になっていないもの、主語と動詞が一致していないものが多くみられた。

⑤ まとまりのある英文を読んで、概要や大切な部分を読み取る力と、与えられた〔条件〕に従い、まとまった内容の文章を英語で表現できるかをみようとしたものである。

- 問1 「Dannyと彼の弟がその古い映画を観たあと、それは彼らの（ ）映画になった。」という意味になるように、英文の空欄にあてはまる英語を1語、本文中から抜き出す問題である。2～3行目に“She said that the old movie was her favorite.”とあり、8行目に“My brother and I like the movie as much as our mother likes it.”とある。従って、空欄にあてはまる単語は「お気に入り、大好きな」を表すfavoriteであることがわかる。
- 問2 本文の内容と合うものを選ぶ問題である。本文の8～9行目に“We have watched it many times since then.”とあることから、正答はアとなる。
- 問3 与えられた〔条件〕に従い、基本的な語彙や文法事項を活用して自分の考えを適切に表現する問題である。①には「私の夢は～」ということ、正答例のように“My Dream is～”で書き始めることが必要である。そして②には、①の内容の具体例や理由などを、2文以上で書くことが求められる。誤答としては、不定詞や動名詞の使い方、冠詞の扱いや単数・複数の区別がなされていないなど、動詞や名詞に関するものがみられた。他の誤答例としては、無用な繰り返しや具体例としては不適当なものがみられた。

基本的な語彙や文法事項を含め、適切な表現や構成で英文を書けているかに注意を払いたい。また、自分の考えや理由などが読み手に正しく伝わるように、一貫性のある文章を書く力を身に付けたい。